

# 末梢神経伝導速度検査

## 概要

手や足の末梢神経の走行に合わせて皮膚上から電気刺激を行い、波形を記録する検査です。

## 検査方法

上肢の神経であれば手のひらや指、下肢の神経であれば足の裏やくるぶしの近くに電極シールを付け、皮膚上から手や足の末梢神経の走行に合わせて電気刺激を行います。

※検査する神経の種類により、電気刺激する位置や数が異なります。

## 検査で分かること

主に2種類の検査に大別されます。両者ともに得られた波形から伝導速度（神経の伝わる速さ）や振幅などを算出し、神経の機能を評価します。異常がある場合、伝導速度や振幅が小さくなります。

### 1. 運動神経伝導速度検査

手や足が動かしづらくなるなどの症状がある場合、運動に関わる神経に異常があることがあります。運動神経を刺激することによって筋肉が動くことを利用し、異常がないか調べます。

### 2. 感覚神経伝導速度検査

しびれや痛み、熱さや冷たさの感覚が鈍くなるなどの症状がある場合、感覚に関わる神経に異常があることがあります。感覚神経そのものを刺激し、異常がないか調べます。

## 注意事項

- ・ペースメーカーを装着されている患者様は、場合によっては検査を中止することがあります。

## 所要時間

約30～60分程度 ※検査内容により異なります。

## よくある質問

Q：電気刺激は痛いですか？

A：神経を刺激する必要があるため、痛みが伴います。電気刺激は弱いところから徐々に強くしていきますが、強い刺激を長時間与えることはありません。しかし、刺激の強さや時間は患者様によって異なるため、痛みの程度には個人差があります。神経に電気刺激を行っても身体に影響はありませんのでご安心ください。

Q：刺激によって体はどうなるのですか？

A：検査の対象となる神経の支配を受けている筋肉（腕や足、または指）が勝手に動きます。身体に影響はありませんので、力を抜いて楽にしてもらうようお願いしています。

Q：検査してもらいたい場所と違う場所を刺激するのはなぜですか？

A：神経は脳や脊髄から指先まで伸びており、その走行に合わせて刺激を行っています。症状のある部位（検査してもらいたい場所）に関係する神経の中でどの場所に異常があるかを調べていますので、例えば指のしびれを訴えられた場合、手首や肘、二の腕のあたりまで神経の走行に沿って刺激します。

